

(様式2(1))

目標達成計画

事業所名 グループホーム「かわも」

作成日：平成 23 年 4 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	自治会長、家族、市介護保険課、地域包括、事業所職員、知見者の出席で定期的に開催している。皆さん、お忙しい方々であるがなるべく調整して出席をして下さっている。地域からは、自治会長のみの出席となっている。	自治会長をはじめ地域の民生委員、自治会会員にも出席をお願いし、より広くこのグループホームを理解して頂き、その意見をサービス向上に活かしていく。	自治会活動により積極的に参加し、その中でグループホームの理解をして頂いて、運営推進会議への出席をお願いしていく。	3 ヶ月
2	6	転倒予防のリスクに対して、身体拘束をしない介護上の工夫を職員全員で考え行っている。家での工夫等、家族にも協力をして頂いている。診療所に併設している複合施設のため、建物の構造上施錠を行っている。	転倒に関するリスクは常にあり、家族にも協力をお願いし、全職員で身体拘束をしない介護上の工夫に今後も取り組んでいく。施錠に対しては、法人とも話し合いの場を持ち、利用者が閉塞感を持たず暮らせるように考慮していく。	お天気の良い日は、1日1回はベランダや1Fのプランター等草花に触れて外気浴をし、利用者の希望を優先して外出の機会を増やす。施錠に対しては、法人と話し合いの場をもって検討していく。	6 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。